

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）コマザワダイガク	フリガナ）グローバル・メディア・スタディーズ学部	カガミヨウコゼミナール
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	各務洋子ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）チームビー	フリガナ）トヨタテツオ	5	無
チームB	豊田哲雄		

研究テーマ（発表タイトル）

平成の開国宣言 ～選ばれる国日本～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本での就職を望む留学生にとって、就職活動を行いやすい環境を作り、提供することによって、日本企業への「移民」の活用促進を行う。長期的な目的として、日本企業への外国人採用が増えること、その結果、日本企業のダイバーシティ化による新たな価値の創造につながることを掲げる。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

日本は現在、人口減少が社会問題として認識されている。人口減少は労働者数の減少につながり、日本経済の（GDP）停滞を引き起こす。この問題の解決策として、女性の活用・高齢者の活用・AIの活用に加え、移民の受け入れ・外国人材の活用にも注目が集まっている。

日本で働く外国人は2015年で約91万人。その業界の幅は広く、外国人の働き手無くして日本の経済は成り立たないともいえる。近年、外国からの留学生数も増加傾向にあり、2015年の日本への留学生は約21万人となっている。日本政府は2020年までに留学生を30万人受け入れることを目指す、「留学生30万人計画」を、アジア、世界の間のヒト・モノ・カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」の一環として掲げている。

留学後の進路として、日本での就職を希望している外国人留学生数も増加傾向にある。その流れに伴い、外国人留学生数の多い大学では、留学生向け就活セミナーを行うなど、大学側が主体的となって留学生の日本での就職活動のフォローを行うケースも見受けられる。しかし、未だその活動は部分的なものであり、現に留学生数が比較的少ない駒澤大学では、留学生だけに向けた特別な就職活動のフォローは行われておらず、その母体数が少ないために、学校主体として活動を開始することも難しい。

そのような現状がある中で、私達は、「日本人の学生」が主体となって、外国人留学生をサポートできる環境づくりに目を向けた。

3. 研究テーマの課題

外国人留学生、そして日本への就職者が増える一方で、2013年の日本では8割以上の企業が日本人と留学生の就

職活動のプロセスを分けていなかった。実際、留学生にアンケートを取った結果、「母国語での就職活動に関する情報が少ない」という声が多くあることがわかった。また、日本企業への就職活動は、SPIや短期インターシップへの参加が推奨されることなど、日本特有のプロセスが多い。そして、就職活動後も、日本ならではの文化や敬語など社会人としてのルールが受け入れられない留学生や日本語能力が母国語レベルに達していない留学生にとって、母国語での情報が少ない中で特有のプロセスを踏む日本での就職活動は難しい。また、言語力にハンディキャップがある中、日本の学生と同じ土台での採用活動が行われていることはフェアではない。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

「語学を学びたい」、「留学生と交流したい」、「空き時間を有効に使いたい」という日本人大学生と「課題を見てもらいたい」、「日本人と交流したい」、「日本の就活を知りたい」という留学生の要望をマッチングさせる。具体的には10分/100円で留学生の授業の課題や就職活動のエントリーシートなどの添削を日本人大学生が行う場を大学内に設ける。また、その延長として昼食を一緒に取るなど継続的な交流を図る。

拡散方法としては口コミを始めとし、大学にも協力を要請し、最終的に大学のホームページに掲載してもらうことで利用者を増やす。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

外国籍を持つ方に、日本への就職・就職活動についてのアンケート。日本人大学生への留学生に関するアンケート。大学との上記ビジネスモデルの必要性の確認

6. 結果や今後の取り組み

駒澤大学の日本人学生、留学生双方にニーズがあるかの確認のためのアンケートの実施。駒澤大学側への許可の申請、協力の要請。他大学への調査および提案。

7. 参考文献

「移民ノミクス」 日経ビジネス 2016年5月9日号、p.24-42、日経BP社

総務省統計局 「人口の推移と未来人口」

<http://www.stat.go.jp/data/nihon/02.htm>

総務省統計局 年齢各歳別人口

<http://www.stat.go.jp/data/nihon/02.htm>

野村総合研究所ニュースリリース

https://www.nri.com/jp/news/2015/151202_1.aspx

厚生労働省 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（平成27年10月末現在）」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000110224.html>

一般社団法人留学生支援ネットワーク 「外国人留学生の就職活動の現状と教育機関に求められる支援」

http://www.jasso.go.jp/gakusei/career/event/guidance/_icsFiles/afieldfile/2015/11/02/h27guidance_ryugaku_ryugakusei_shiennetto.pdf

平成 26 年度産業経済研究委託事業（外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査）

http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/global/pdf/H26_ryugakusei_report.pdf

少子高齢化が進むと労働力は本当に不足するのか 企画調整室 客員調査員 小林 真一郎（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主任研究員）

http://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/keizai_prism/backnumber/h21pdf/20096601.pdf

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りません。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。